

経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取り組み

8. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること (→P 17)

内容	結果
①「外部有識者との意見交換会」の実施 (年1回)	令和7年9月30日に外部有識者を招いて令和6年度経営発達支援計画に関する意見交換会を実施し、取り組み状況に対する意見やアドバイスをいただき、以降の取り組みの改善につなげた。
②監事会による事業の評価の実施 (年1回)	令和7年5月14日～6月3日に行い、当事業を含む担当部署事業の事業費と事業内容の監査を実施した。
③事業の評価結果をHP及び会報誌へ掲載 (年1回)	当商工会議所ホームページ及び会報(令和7年11月号)に実施報告書を掲載した。

9. 経営指導員等の資質向上等に関すること (→P 18～P 19)

内容	結果
①鹿児島県商工会議所連合会主催の研修会参加 (年2回)	経営指導員が県下経営指導員研修会2回、4日間(合計20時間)に参加。経営支援員は県下経営支援員研修会1回2日間(7時間)に参加。その他、県下の若手経営指導員・経営支援員を対象に、専門家のOJT指導等によるスーパーバイザー事業に参加。
②中小機構が主催する研修参加	商業診断基礎研修、財務・税務入門研修等に経営指導員8名が参加。
③職員間のミーティングの開催 (年12回)	国・県・市等の支援施策が公表される度に、職員間の勉強会を随時実施し、情報やノウハウの共有化を図った。
④データベース化	経営指導員・支援員の窓口・巡回での支援情報(決算等の金融情報含む)を随時TOASに入力し、支援情報の共有化を図った。
⑤経営支援実績の「見える化」の実施	補助金の申請・計画作成の支援やマル経発掘、専門家相談、国の共済制度契約等の支援実績の件数をポイント化し、支援実績の「見える化」に取り組んだ。

10. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること (→P 19～20)

内容	結果
①商工会議所・商工会等との情報共有 (年2回)	以下の会議に出席し、支援状況、ノウハウ等の情報交換を行った。 ・当所、県商工会連合会、かごしま市商工会の3団体による支援機関連携会議(令和8年2月5日)に参加。 ①中小・小規模事業者の支援の現状等について ②中小企業・小規模事業者に対する施策について ③意見交換
②地域金融機関との情報共有と支援体制強化構築 (年2回)	日本政策金融公庫と事例研修を交えたマル経融資に関する協議会を9月に開催し、マル経融資についての知識の向上を図るとともに日本公庫との連携強化を進めた。 (参加者: 経営指導員7名)